

プログラム(1日目) 6月7日(金) 第1会場 7F 小田島組☆ほ～る

●開会式 10:00-10:10

代表世話人挨拶 稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部)
当番世話人挨拶 加藤 健一 (岩手医科大学放射線医学講座)

●一般演題① 10:10-10:50

「CVP1」

座長：末吉 智 (済生会中和病院 放射線科)

貞岡 俊一 (聖ヶ丘病院)

01-1 CV ポート留置術の際に US 下で静脈へのカニューレーションに難渋し、DSA 下に穿刺した1例

関澤 琢郎 (岩手県立中央病院 放射線診断科)

01-2 高齢者に対する安全な CV ポート留置術

西森 英史 (札幌道都病院 外科)

01-3 当院における CVP 抜去術クリニカルパスの運用状況の検討

佐藤 洋造 (愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部)

01-4 右内頸静脈前方穿刺法で CVP 設置後に穿刺部付近でカテーテルキンクが発生した3例
---- トラブルシューティング ----

田口 雅海 (八戸赤十字病院 放射線科)

●共催セミナー 1 11:10-12:00 (共催：中外製薬株式会社)

「複合免疫療法 + TACE は肝細胞癌の新しい標準治療となるか？」

座長：森口 理久 (京都府立医科大学 消化器内科学)

演者：工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科)

●ランチョンセミナー 1 12:10-13:00 (共催：バイエル薬品株式会社)

「肝癌 IVR 後の治療効果判定の実際と EOB-MRI の役割：
TACE/HAIC 後を中心に」

座長：田中 利洋 (奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座)

演者：鶴崎 正勝 (関西医科大学／関西医科大学総合医療センター 放射線科)

● **特別講演 13:10-14:00**

「近赤外光線免疫療法（光免疫療法、アルミノックス治療）」

座長：曾根 美雪（国立がん研究センター中央病院放射線診断科・IVR センター）

演者：小林 久隆（米国国立がん研究所（NCI/NIH）、関西医科大学附属光免疫医学研究所）

● **一般演題③ 14:10-15:00**

「CVP2」

座長：松枝 清（がん研有明病院 超音波診断・IVR 部）

宮崎 将也（埼玉医科大学総合医療センター 画像診断科・核医学科）

03-1 中心静脈ポートのシステムチェックからみたフィブリンシースについて

土屋 智史（がん研有明病院 超音波診断・IVR 部）

03-2 フィブリンシースによる CVP 機能不全に対する直接作用型経口抗凝固薬治療の検討

川田 紘資（岐阜大学 放射線科）

03-3 逆血不良をきたした CV ポート症例に対する炭酸ガス急速注入の有効性

富松 浩隆（神戸市立西神戸医療センター、放射線診断科）

03-4 ヨンデリス（トラベクテジン）特有の CV ポート皮下カテーテル部に沿った無菌性炎症

久保 貴俊（東京大学医学部附属病院 放射線科）

03-5 中心静脈ポート抜去症例の検討

村田 慎一（愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部）

● **スイーツセミナー 15:10-16:00（共催：テルモ株式会社）**

「知っておきたい緩和医療、現状と展望について」

座長：加藤 健一（岩手医科大学 放射線医学講座）

『CV ポートで広がる緩和ケアの可能性』

石木 寛人（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）

『ACP を実践する際に留意すべきこと』

木村 祐輔（岩手医科大学附属病院 緩和ケア科・緩和ケアセンター）

● **共催セミナー 2 16:10-17:00（共催：カーディナルヘルス株式会社）**

「中心静脈穿刺 イイ刺し方って何？」

座長：生口 俊浩（岡山大学学術研究院保健学域）

演者：徳嶺 譲芳（杏林大学医学部附属病院 麻酔科）

● **イブニングセミナー 17:10-18:00** (共催:キヤノンメディカルシステムズ株式会社)

「中心静脈ポートと肝動注リザーバー留置術における画像の役割」

座長: 浜田 弘巳 (北海道立 子ども総合医療・療育センター 小児外科)

『中心静脈ポート留置術に画像診断って必要?』

佐藤 洋造 (愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部)

『まいにちカットダウン! リザーバー動注療法でのCTの使い所ー』

佐藤 罌 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)

プログラム(1日目) 6月7日(金) 第2会場 8F 会議室 803

● 世話人会 9:10-10:00

● 一般演題② 10:10-11:10

「動注1」

座長：上嶋 一臣（近畿大学医学部 消化器内科）

板野 哲（久留米中央病院）

02-1 進行肝細胞癌に対する New FP 療法と全身薬物療法併用の有用性

永松 洋明（順天堂大学 消化器内科）

02-2 切除不能高度脈管侵襲陽性進行肝細胞癌に対する 3DCRT 併用リザーバー肝動注の有効性

谷 丈二（香川大学 医学部 消化器・神経内科）

02-3 Durvalmab+Tremelimumab 療法不応後に New FP 療法をおこなった症例の検討

出口 章広（香川労災病院／香川大学医学部消化器神経内科）

02-4 チロシンキナーゼ阻害薬が肝内血流変化に与える影響 —リザーバー肝動注とチロシンキナーゼ阻害薬併用症例から—

佐藤 塁（静岡県立静岡がんセンター IVR 科）

02-5 動注は最後の砦として生き残る

小尾 俊太郎（帝京大学ちば総合医療センター／公益財団法人佐々木研究所付属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科）

02-6 当院における Remap 肝動注＋ Lenvatinib 併用療法の短期治療成績

新関 敬（久留米大学病院 消化器内科）

● 一般演題④ 14:10-15:00

「動注2」

座長：米虫 敦（関西医科大学 総合医療センター 放射線科）

喜多 竜一（大阪赤十字病院 消化器内科）

04-1 左上肢留置の簡易リザーバーにおける難渋症例の検討

小岡 洋平（仙台厚生病院 肝臓内科）

04-2 リザーバーカテーテル留置困難症例に対して、コアキシャル留置法の変法で留置し得た進行肝細胞癌の一例

岩本 英希（久留米大学内科学講座消化器内科部門／医療法人 岩本内科医院）

04-3 膵癌肝転移に対する全身化学療法（GEM + nab-PTX 療法）と 5-FU 肝動注療法の併用療法の初期治療成績

佐藤 健司（奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学）

04-4 術後再発頭頂部有棘細胞癌に対して、後頭部動注ポート埋込みによる動注化学療法および放射線治療を行い局所制御が得られた1例

牧野 航 (中部国際医療センター 放射線治療科)

04-5 上腕埋め込み型 ReMAP を用いた骨盤内動注でコントロール良好な大腸癌骨盤内転移の1例

板野 航 (久留米大学消化器内科)